



しづはた営農経済センターだより 静岡市葵区下1459-1 ☎294-9330

センター長	茶	野菜・水稲・苺	果樹・有害鳥獣	女性部	購買
伊藤	佐藤・武田	松尾	葉	漆畑	市川・萩原
配送	加藤・長谷川	大河内地区担当	有賀	梅ヶ島地区担当	望月

《茶園管理》 秋整枝の時期に注意して下さい。

8月下旬から9月上旬にかけて降雨が少なく、3番茶や秋芽の生育が遅れ気味になっています。本年は比較的トジムシの発生は少なかったですが、盆明け頃からアカダニなどのハダニ類の発生が目立ちました。これから平均気温が低くなり秋整枝時期に近くなるとトジムシの発生が目立つようになると予測されます。

秋整枝については茶樹の充実具合をしっかりと見極め、一番茶の母葉が硬化し黒緑色になるまで充実させて下さい。また、秋冬番茶の摘採を行う方につきましては、自己の茶園及び周囲の茶園に対する防除について注意を心掛けて下さい。

●秋整枝

本年は干ばつの影響で茶樹の生育が遅れていますので母枝がしっかり硬化し、古葉の緑が濃く充実を図った頃を目安に整枝を行って下さい。

時期・・・母枝が充実し葉が濃緑色となり、平均気温が19℃以下になった頃
平坦地・山間地 10月中旬ころ（10月10日以降からを推奨）
（3茶芽の生育、硬化が遅れている園では、10月下旬以降）

ポイント①

- ① 秋整枝までに秋芽が硬化できない場合は春整枝に回して下さい。
- ② 早場所や整枝の時期が早い場合、遅れ芽の発生や再萌芽することがありますので、整枝時期には十分注意して下さい。（遅場所から始め、最後に早場所）

深さ・・・2茶摘採面より、5cm位上(3茶葉が2～3節残る程度)
※ 樹勢、園相により、深さは調節して下さい。茶園樹冠部上から見下ろして大きい葉が揃っている位置

ポイント②

- ① 葉層10cm以上の確保に努めましょう
 - ② 秋芽の生育の良い園、遅れ芽が多い園では、日焼け防止のために整枝の1週間前に秋整枝予定面より5cmくらい上で一度整枝して下さい。
 - ③ 寒害や凍霜害を受けやすい園、樹勢の弱い園では春整枝にして下さい。
 - ④ 整枝後に輪斑病の発生が予想される園では整枝直後に防除を行って下さい。
- ◎散布薬剤・・・カスミンボルドー1,000倍 又は アミスター20フロアブル 2,000倍
【整枝後24時間以内】 【整枝後3日以内】

防除

まだ硬化していない葉にアカダニの発生を確認しています。また、昨年より少ないですがトジムシの発生が確認され、今後継続的に発生するので注意して下さい。
※秋冬番茶を摘採する方は摘採前日数を確認して農薬散布をお願いします。

9月下旬整枝前（秋冬番茶の摘採をする園がある場合は十分に注意して薬剤散布をする）

①ハマキムシ類（トジ・ハマキムシ）を重視したい方

☆適期を逃し速効的に効かせたい場合 **アファーム乳剤 2,000倍 7日**
又は ☆秋整枝までの期間を効かせたい場合 **フェニックス顆粒水和剤 2,000倍 7日**

②アカダニ・ホコリダニ・ダニ類を重視したい方

ミルベノック乳剤 1,000倍 7日

③ウンカ・スリップス・ホコリダニ・サビダニ・ホソガを重視したい方

劇ハチハチ乳剤/フロアブル 1,000倍 14日
※柑橘園が隣接している場合はフロアブルを散布

クワシロカイガラムシ 干ばつの影響から多発生茶園については必ず防除を！！

防除時期・・・9月下旬～10月中旬
・この時期の発生（第3世代）は、ダラダラ発生になりやすいので、よく観察して適期防除に努めてください。

散布薬剤・・・アプロードAフロアブル1,000倍 又は **劇スプラサイド乳剤 1,500倍**
散布量・・・10a当たり 1,000リットル

チャトゲコナジラミ 発生初期に早期防除の徹底を
防除時期・・・9月中下旬 幼虫発生期
散布薬剤・・・**劇ハチハチ乳剤/フロアブル 1,000倍**
または、**アプロードAフロアブル 1,000倍** ※クワシロ同時防除可

灰色かび病 干ばつの影響で開花が多いと予測され、発病が懸念されます。

防除時期・・・開花最盛期（11月）
散布薬剤・・・**フロンサイドSC 2,000倍 14日**

第71回全国茶品評会 普通煎茶4kgの部 『静岡本山茶』

大河内 有東木茶農業協同組合 出品数 2品
2等 11席 入賞
3等 27席 入賞

全国で2等、3等に入る快挙です。大変素晴らしい成果です、おめでとうございます。

《いちご》

今後の作業

現在、メルク試験紙で硝酸態N:0ppmに近い方は、ハダニ、うどんこ病防除をするときに、くみあい液肥800~1,000倍で散布。高設の方は給液、排液のチェックをお願いします。今年にはホコリダニ、ヨトウの発生もみられますので、早めの防除をお願いします。

灌水時の水温注意！！

(1) 雨の多い時期になります。土耕のほ場が冠水しないよう排水対策を万全に！

(2) 灌水 定植後は、手かん水を徹底して行い(7日~10日)初生根の発生を促す。
 ☆特に小型ポット育苗で根が締まっていた苗では徹底する。
 日常の灌水量はp fメーターを目安に緑色の範囲を保つように調整する。

☆定植後の活着促進のコツ

地温を測定し、定植時の地温を下げる工夫を！1週間前から培地を冷やせると良い。

(3) ビニール被覆

ビニール被覆は(おおよその予想)10月25日から30日頃:開花直前
 最低夜温が10℃を下回り、2番の分化を確認してから保温開始(きらび香は12℃)
 2番も検鏡しますので、お気軽にご連絡ください。

(4) 花芽摘み取りの判断

10月1日以前に咲き、株出来していないものについては基本的には摘み取る。
 但し圃場全体が咲いてしまいとりきれない場合は、摘果で対応し玉数を5つくらいに制限する。(株への負担を減らす)

(5) 入蜂 夕方まで暗い場所に保管、設置して蜂が落ち着いてから夕方入り口を開く
 花が早い方は1週間ほど早目に蜜蜂を入れ慣らしておく。

(6) 病虫害防除 《ビニール被覆までに徹底して行う。特にうどんこ病要防除》

☆定植前にチャノホコリダニ、ハダニ、スリップス等も要防除☆

① 炭疽病 葉かき等の後は必ず薬剤散布を実施する。(定植時4~5枚が目安)
 発生株は、早めに抜き取り処分し、予備苗を補植する。

セイビアーフロアブル	1,000倍	収穫前日 3回以内
アミスター20フロアブル	1,500倍	灰色かび病・うどんこ病兼用

② うどんこ病 要徹底防除 ※EBI剤抵抗性注意！

ポリオキシン水溶剤	5,000倍	灰色かび病兼用、ダニにも効果アリ
イオウフロアブル	2,000倍	
パンチョTF顆粒水※	2,000倍	サブロール、トリフミン、ラリー、ルビゲンは同じ系統
サンヨール	500倍	灰色かび病兼用
フルピカフロアブル	2,000倍	

《ビニール被覆時より硫黄のくん煙を併用する。2~3時間程度》薬量に注意！！

③ 天敵によるハダニの防除体系 合ピレ剤は使用しない！！

10月上旬:コロマイト水和剤散布(ハダニの密度を低下させる。)

↓《7日後》マイトコーネフロアブル散布

10月下旬:ミヤコカブリダニ、チリカブリダニ 6,000頭/10a

2月上旬:ナミハダニの発生多の場合のみ→チリカブリダニ 6,000頭/10a

天敵放飼中の害虫防除:アブラムシ、コナジラミ:チェス水和剤

スリップス類 : マッチ乳剤

※ダイアジノン粒剤5が、いちご定植時で登録がとれましたが、ハチへの影響もあるので、使用はお控えください。

《水稻》

今年は紋枯れ病とごま葉枯れ病が多い予想です！

病気が心配な圃場は、早めに防除をお願いします。

防除薬剤

モンカットフロアブル	1,000倍	収穫14日前 3回以内	※紋枯れ病
ブラシソフロアブル	1,000倍	収穫7日前 2回以内	その他病気

1. 今後の水管理

(1) 間断灌水とし、溜水はしない。

(2) 落水時期は、出穂後30日頃とする。落水時期が早すぎると、玄米の充実が悪化する。

2. 刈り取り適期

一穂中90%の籾が黄色になった時

普通期栽培の刈り取りの目安 →

※但し天候による日数の変動あり

早生種	出穂後35日~40日頃
中生種	出穂後40日~45日頃
晩生種	出穂後45日~50日頃

3. 乾燥

7日程天日干しし、玄米水分14~15%に調整する。

コンバインで収穫した籾は、4時間以内に乾燥機に張り込む。

《アスパラガス》

雨が続き、日照不足が続くと、病気や虫が発生しやすくなります。

ヨトウや茎枯病、斑点病の予防をしっかりと行いましょう！

何事も早期発見と予防散布が大事です。防除の徹底をお願いします！

順調に転流させるために、収穫終了後

メリット赤を300~400倍で3~5日おきに3回以上散布を行ってください。

《野菜》

これから秋冬野菜の定植をされる方に♪定植前、定植後に使用できる薬剤はコチラ！

アブラムシ、アオムシ

アクタラ粒剤5	定植時
オンコル粒剤5	オルトラン、プレバソンは
オルトラン粒剤	ヨトウムシにも有効！
プレバソソフロアブル5	定植前セルトレイ 灌注500倍

ネキリムシ、コガネムシ幼虫

ダイアジノン粒剤5	種まき前、定植前
-----------	----------

※薬剤使用時は適用作物の登録をご確認ください。

